

予防医学

ナンバリング M5-S1-C06

責任者・コーディネーター	衛生学公衆衛生学講座 丹野 高三 教授		
担当講座・学科(分野)	衛生学公衆衛生学講座、総合診療医学講座		
担当教員	丹野 高三 教授、小野田 敏行 客員教授、武田 俊彦 客員教授、赤坂 憲 准教授、事崎 由佳 講師、田鎖 愛理 講師、立身 政信 非常勤講師、野村 恭子 非常勤講師、澤田 典絵 非常勤講師、野原 勝 非常勤講師、岡村 智教 非常勤講師、西 信雄 非常勤講師、坪田 恵 非常勤講師		
対象学年	5	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 19コマ 38.0時間
期間	後期		演習 1コマ 2.0時間 実習 0コマ 0.0時間

・学習方針(講義概要等)

予防医学では医学的な知識や経験を国民の健康維持にどう応用するか、その方法論と具体的な社会制度を学ぶものである。疾病予防にとどまらず法律や行政の仕組み、医療費などの医療経済に関わる点まで含んで「健康」というキーワードで俯瞰する学問分野である。講義は演習を含み、講義時間内に基本的な知識、技術の習得を目指す。

・教育成果(アウトカム)

健康状況の把握方法や、生活習慣や労働による疾病予防の方法論を学び、施策、行政との関連などを学ぶことにより、疾病予防の重要性について説明できる。また、「健康」の概念の理解とその予防方法について学ぶことにより、予防における医師の果たす役割を説明できる。さらに、将来医師として社会に関わる際の医療制度、保健活動の基本的な仕組みについて学ぶことにより、社会における予防の重要性について説明できる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,3,4,6,7,8)

・到達目標(SBOs)

No.	項目
1	予防の概念について説明できる。
2	地域保健・成人保健について関連法規と近年の動向を説明できる。
3	医療提供体制と医療保険制度について関連法規と近年の動向を説明できる。
4	介護保険について関連法規と近年の動向を説明できる。
5	母子保健制度について関連法規と近年の動向を説明できる。
6	感染症対策と健康危機管理について関連法規と近年の動向について説明できる。
7	我が国の主要死因の内訳と動向を説明できる。
8	栄養と健康の関わりについて説明できる。
9	循環器疾患の危険因子とその予防法について説明できる。
10	がんの危険因子とその予防法について説明できる。
11	生活習慣病の概念とその予防法について説明できる。
12	学校保健制度について関連法規と近年の動向を説明できる。
13	国際的な保健問題について説明できる。
14	精神保健福祉について関連法規と近年の動向を説明できる。
15	障害者(含、難病患者)の医療と福祉について関連法規と近年の動向を説明できる。
16	産業保健における疾病の管理予防について関連法規と近年の動向を説明できる。
17	健康の社会的決定要因(social determinant of health)について説明できる。

・ 講義場所

東1-0講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	9/7(月)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	予防医学概論	1	<p>【事前学修】 書籍（シンプル衛生公衆衛生学等）を用いて健康と疾病の概念および予防について事前学習すること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 健康の定義と概念、健康増進の概念、公衆衛生の定義、予防のレベル、population strategyとhigh risk strategyについて簡潔にまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/7(月)	2	衛生学公衆衛生学講座	事崎 由佳 講師	主要疾患とその動向	2,7	<p>【事前学修】 疫学の講義資料や書籍（特に国民衛生の動向）を読んで、主要疾患とそれによる死亡の動向について事前学習する。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患について、罹患および死亡に関する動向をそれぞれまとめること。 国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査、患者調査についてそれぞれの違いが分かるようまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/7(月)	3	医学部	武田 俊彦 客員教授	医療政策	2,3,4	<p>【事前学修】 我が国の医療に関する政策論について、例えば病院の再編統合や医師の偏在問題等、最近の報道にどのようなものがあるか調べておくこと。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ医療をめぐる課題についてどう考えるか100字程度でまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

講義	9/7(月)	4	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	労働衛生総論	16	<p>【事前学修】 医事法学で履修した労働法の内容を講義資料や書籍を用いて復習すること。最近のニュースで労働衛生が関係するものを調べること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 産業保健の目的を簡潔に記載すること。労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法について概要をまとめること。労働者死傷病災害の状況について、近年の経過と概要をまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/8(火)	1	総合診療医学講座	田鎖 愛理 講師	産業医の職務と3管理	16	<p>【事前学修】 産業医の職務について労働安全衛生法を講義資料や書籍を用いて確認すること。3管理、5管理について書籍（シンプル衛生公衆衛生学等）を用いて事前学習する。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 産業医の法定職務および要件を列挙すること。3管理と5管理を列挙し、定義と具体的内容をまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
演習	9/8(火)	2	総合診療医学講座	田鎖 愛理 講師	有害業務管理	16	<p>【事前学修】 事前資料や書籍（シンプル衛生公衆衛生学等）を用いて有害業務管理（物理的要因・化学的要因・生物学的要因）の概要を把握すること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 有害業務を物理的要因・化学的要因・生物学的要因ごとに列挙し、3管理を中心に健康障害防止対策についてまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>演習資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/8(火)	3	衛生学公衆衛生学講座	立身 政信 非常勤講師	産業疲労と労働安全	16	<p>【事前学修】 書籍（シンプル衛生学公衆衛生学等）や過去の講義資料を読んで、作業管理や一連続作業時間について事前学習する。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 産業疲労の要因と症状に関してまとめること。労働安全の概要についてまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

講義	9/8(火)	4	衛生学公衆衛生学講座	野村 恭子 非常勤講師	過重労働・ストレス対策	16	<p>【事前学修】 医師の働き方改革、過重労働対策、ストレスチェック制度について、書籍（シンブル衛生公衆衛生学等）を用いて事前学習し、関連のニュースを検索して読むこと。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 医師の働き方改革、過重労働対策、ストレスチェック制度について、概要をそれぞれ200字程度でまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/9(水)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	保健医療制度と医療資源	3	<p>【事前学修】 地域保健法、医療法、高齢者医療確保法、医療保険法等について、医事法学の講義資料や書籍を用いて復習しておくこと。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 保健所と市町村保健センターの違い、特定健康診査・特定保健指導、医療に関する法体系をまとめ、地域医療実習に向けて知識の総まとめをすること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/9(水)	2	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	地域保健・成人保健	2	<p>【事前学修】 地域保健法、医療法、高齢者医療確保法、医療保険法等について、医事法学の講義資料や書籍を用いて復習しておくこと。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 保健所と市町村保健センターの違い、特定健康診査・特定保健指導、医療に関する法体系をまとめ、地域医療実習に向けて知識の総まとめをすること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/9(水)	3	衛生学公衆衛生学講座	澤田 典絵 非常勤講師	がんの危険因子とその予防	10	<p>【事前学修】 他科目における悪性腫瘍に関する内容および主な生活習慣病の危険因子、疫学で履修した内容を、過去の講義資料や書籍を用いて復習すること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 各臓器のがんの危険因子と予防因子について、喫煙、飲酒、感染、それ以外に分類しまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

講義	9/9(水)	4	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	母子保健・学校保健	5,12	<p>【事前学修】 母子保健法、母体保護法、学校保健法について医事法学の講義資料、書籍を用いて復習すること。産婦人科学や小児科学の内容、特に母子保健統計を講義資料や書籍を用いて復習すること。</p> <p>所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 母子保健統計の主要な指標と動向、母子保健法、母体保護法、児童虐待防止法、母子保健制度や健やか親子21の施策についてまとめること。学校保健に係る職種とその役割について、学校医を中心にまとめること。学校感染症の対象疾患と出席停止基準をまとめること。児童生徒等の死因、事故の特徴、疾病異常、発育状況についてまとめること。所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/10(木)	1	総合診療医学講座	田鎖 愛理 講師	障害者の保健と福祉（難病、精神保健を含む）	14,15	<p>【事前学修】 医事法学や精神医学で履修した難病・障害者福祉に関する法令を講義資料や書籍を用いて復習すること。</p> <p>所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 障害者基本法、障害者総合支援法、難病法、精神保健福祉法、医療観察法、精神保健の課題と予防（特に自殺対策）についてまとめること。</p> <p>所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/10(木)	2	衛生学公衆衛生学講座	野原 勝 非常勤講師	感染症と健康危機管理	6	<p>【事前学修】 感染症学や医事法学で履修した内容を講義資料や書籍を用いて復習すること。</p> <p>所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 感染成立の条件、感染症法、予防接種法、検疫法、感染症の動向、主要な感染症とその対策についてまとめること。</p> <p>所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

講義	9/10(木)	3	衛生学公衆衛生学講座	岡村 智教 非常勤講師	循環器疾患の危険因子とその予防	9	<p>【事前学修】 主な生活習慣病の危険因子、疫学、循環器病学（虚血性心疾患、血管疾患）および神経病学（脳血管疾患）で履修した内容を、過去の講義資料や書籍を用いて復習すること。所要時間75分以上</p> <p>【事後学修】 循環器疾患の危険因子と予防因子についてまとめること。疫学研究成果が国民健康づくり運動等の健康施策に活用されている経過について100字程度にまとめること。 所要時間 75分以上 【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/10(木)	4	衛生学公衆衛生学講座	西 信雄 非常勤講師	社会環境と健康	17	<p>【事前学修】 厚生労働省のe-健康づくりネットの学習教材 (https://e-kennet.mhlw.go.jp/learning/)等を用いて、社会的な健康規定要因について事前学習すること。 所用時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ社会的な健康規定要因、環境レベルと個人レベルの健康規定要因のモデル、健康関連の行動変容のモデルについてそれぞれ100字程度でまとめること。 所要時間 75分以上 【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/11(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	赤坂 憲 准教授	生活習慣とリスク	11	<p>【事前学修】 喫煙および受動喫煙、飲酒、身体活動・運動、栄養・食生活、休養・睡眠とその健康リスクについて、過去の講義や実習の資料もしくは書籍を用いて事前学習する。国民健康・栄養調査の内容を復習する。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 喫煙および受動喫煙、飲酒、身体活動・運動、栄養・食生活、休養・睡眠の現況や推移を国民健康栄養調査等の結果からまとめること。またその健康リスクについてまとめること。 所要時間 75分以上 【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

講義	9/11(金)	2	衛生学公衆衛生学講座	赤坂 憲 准教授	高齢者保健と介護保険制度	4	<p>【事前学修】 高齢者医療確保法と介護保険法について、介護体験実習・医事法学・老年医学の講義資料、書籍を用いて復習すること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 地域包括ケアシステムと介護保険制度の概要をそれぞれ100字程度で纏めること。以前の講義内容も参考に、医療と介護の関係を100字程度で纏めること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/11(金)	3	衛生学公衆衛生学講座	坪田 恵 非常勤講師	国民栄養と食生活	8	<p>【事前学修】 書籍（シンプル衛生公衆衛生学等）を用いて、国民健康・栄養調査や食品保健について事前学習すること。最近のニュースで食品保健が関係するものを調べること。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 栄養に関する基礎知識、栄養と疾病との関連、国民健康づくり運動についてそれぞれまとめること。食品衛生法のうちHACCPと食中毒の届出についてまとめること。食中毒の分類と原因物質、対処法についてまとめること。食事摂取基準の概要をまとめること。保健機能食品について、審査や届出の要否に着目してまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>
講義	9/11(金)	4	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	国際保健	13	<p>【事前学修】 国際保健全般について、書籍（シンプル衛生公衆衛生学等）を用いて事前学習する。最近のニュースで国際保健が関係するものを調べる。 所要時間 75分以上</p> <p>【事後学修】 世界の保健・医療問題について感染症と非感染性疾病について分類して列挙すること。SDGsについてまとめること。国際保健医療協力に関連する機関を列挙しそれぞれの役割をまとめること。 所要時間 75分以上</p> <p>【ICT】講義資料をWebClassにアップする。</p>

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2026	辻一郎 監修、上島通浩、大久保孝義 編集	南江堂	2026

参考書	公衆衛生マニュアル2026 44版	中村好一、佐伯圭吾 編	南山堂	2026
参考書	国民衛生の動向2025/2026（「厚生 の指標」臨時増刊号）	厚生労働統計協会 編	厚生労働統 計協会	2025
参考書	クエスチョン・バンク医師国家試験問 題解説 2027-2028 公衆衛生	国試対策問題編集委員 会 編	メディック メディア	2026
参考書	公衆衛生がみえる 第7版（2026- 2027）	医療情報科学研究所 編 集	メディック メディア	2026

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験成績（MCQ）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～17	1～4 6～8				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebClassで配信する。

本科目では、事前事後学修以外に各回90分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

病院・職域・行政等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を行う。疫学研究やフィールドワークの経験を有する教員が、健康リスクに関連する要因を明らかにする方法や実践的な考え方を網羅的に教育する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコンー式PowerMACG5	1	講義資料作成
講義	19インチTFT液晶モニター Flex Scan L767	1	講義資料作成
講義	ノートパソコンPCGX505cp	1	講義時のプレゼンテーション
講義	パソコンー式（dc5100SF/CTIODATETFT）	1	講義資料作成
講義	ホットモデルSATAベースユニット（ML110G）	1	講義資料の共有
講義	ノートパソコンー式（Dv9500/CT）	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン（R632）	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン（CF-LX3YEABR）	1	講義時のプレゼンテーション
講義	カラー複合機（MP C4503 SPF）	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン（Optiplex 3020）	2	講義資料作成
講義	レーザープリンターー式（IPSIO SP C830）	1	講義資料作成
講義	ートパソコン MacBook Air 13inch ー式（ZOPO）	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン ENVY700-270jp/CT（G1W55AV-AHBY）	1	講義資料作成
講義	プリンター IPSIO SPC830 ー式（308993）	1	講義資料作成